

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2)	評価
	地域との連携を大切に、自治会に加入し回覧板も回っている。地域の行事に管理者、職員、入居者が参加している。また、地域ボランティアの訪問を受けたり、介護関係講座を計画し、地域住民の参加の呼びかけをしている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3)	評価
	運営推進会議は年6回開催し、メンバーは地域包括支援センター、市議員、民生委員、住民代表、有識者、家族代表、入居者代表で構成されている。議題は活動状況、行事予定、外部評価について等である。出席者から、地区市民館文化祭への出展の提案があり、入居者の絵や習字を出品した。会議不参加の家族には来訪時に、職員には毎月のカンファレンスで、内容を伝えている。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目:4)	評価
	市主催の研修会などに管理者、職員で内容により受講している。また、認知症についての講座の講師を地域包括支援センターに依頼するなど、関係機関との連携に取り組んでいる。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6)	評価
	家族会を行事に合わせて、年2回開催し、ホームと家族の意見交換の場になっている。毎月発行の「かわらばん」に、入居者の生活の様子その他、家族からの意見、要望に対する回答を掲載し、伝えるよう努めている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの基本方針として、地域との連携を大切に、地域行事には皆で参加している。また、地域ボランティアを受け入れている。市主催の研修会には管理者、職員が受講し、サービスの質の確保と向上に努めている。ホーム主催の研修会の講師を地域包括支援センターに依頼し連携に取り組んでいる。年6回、運営推進会議を開催し、良好なホーム運営のため、多様なメンバーからの意見を反映させるよう努めている。家族の会を行事に合わせて、年2回開き、家族との意見交換の場を設け、家族からの意見に毎月発行の「かわらばん」を通じて応えるなど、家族の意見を大切に取り組んでいる。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。